平成20(1)国語正答表

満点　一〇〇点

問題番号		正答	配点	配点	備考
第一問	問一	イ	2	24	
	問二	鷹小屋から～いだろう」	2		
	問三	（例）夢にまで見た鷹を自分の腕に乗せることができたから。（二十五字）	3		
	問四	エ	2		
	問五 A	無言の対話	3		
	問五 B	人間に頼る	3		
	問六	（例）鷹匠になるには、人間から鷹に歩み寄り、すべてを捧げなければならないという考え方。（四十字）	5		
	問七	ウ	4		
第二問	問一 A	暖かく軟かい	3	24	「軟らかい」「輪郭」「遮断」の表記は、「軟かい」「輪廓」「遮断」という本文の表記を用いても許容する。
	問一 B	軟かい線で全体がふんわりと囲まれている	3		
	問二 (一)	ウ	3		
	問二 (二)	（例）軟らかい輪郭線が生まれて、木の味が生きてくる。（二十三字）	4		
	問三 (一)	重くて厚いどっしりとした壁	2		
	問三 (二)	（例）ぼかしている（六字）	4		
	問四	（例）木を材料として使うことと、対象となるものの境界をぼかしてとらえる考え方とが密接に関係していること。（四十九字）	5		
第三問	問一	①あざ（やか）　②いちじる（しい） ③よいん　④こくふく ⑤射（る）　⑥与（えた） ⑦運営　⑧個性	16	24	読みがなは、かたかなで表記しても許容する。漢字は、点画に過不足がなく、字形の正しさを損なっていなければ正答とする。
	問二	ア	2		
	問三 (一)	イ	2		
	問三 (二)	ア	2		
	問三 (三)	ウ	2		
第四問	問一	ゆえ	2	8	
	問二	（例）えさのある所に目印として糞をすること。（十九字）	3		
	問三	エ	3		
第五問		作文（略）	20	20	採点の基準等については、別記によること。

（注）右記以外については、各学校で適宜基準を設けるものとする。